



# アドバンスファーストコース アクティブリスニング

心理療法を提供するための技術を身につけていく、実践的なトレーニングです。  
また、接客業や人とかかわる仕事をされる方の仕事の質も高めるトレーニングでもあります。  
スーパーバイザーの指導があります。

## コースの特徴

全 24 回。(A コース+B コース)

●**アクティブリスニングトレーニング Aコース**

相手が話しやすいよう、相手に安心感を与えるかわり方、相手の言いたいことを、受容的に、かつ正確に受け取ることが出来るようになるためのトレーニング。

(カウンセラーを目指す人の初級編、接客の仕事をする人に必須)

●**アクティブリスニングトレーニング Bコース**

悩みを打ち明けたいと思っている相手が話しやすいよう受容し、相手の問題の本質をつかむことが出来るようにする。さらに、問題解決に向けて誘導していけるようになるためのトレーニング。

(カウンセラーを目指す人の中・上級編)

## ●**アクティブリスニングトレーニング Aコース**

## ●**アクティブリスニングトレーニング Bコース**

	カリキュラム名	カリキュラム内容
1	受容的な態度	受容とは、受容的な態度を示すにはどうすればよいか、相手を安心させる位置等について学ぶ。
2	アクティブリスニング①	アクティブリスニングとは何か、どのようにするかを学ぶ。
3	アクティブリスニング②	相手の話を正確に受け止める方法について学ぶ。
4	アクティブリスニング③	相手の気持ちを汲み取る方法について学ぶ。
5	質問の仕方①	相手の話を詳しく聞いたり、相手のニーズを聞き出したりするときに効果的な質問の仕方を学ぶ。
6	質問の仕方②	5で習得した質問の仕方をよりスムーズに効果的に出来るようにする。
7	要約、クロージング	効果的な話の要約の仕方、クロージングの仕方について学ぶ。
8	1メッセージ	相手にこちらの感じたことや思いを伝えるときの、効果的な方法を学ぶ。
9	実践練習①	カウンセラーを目指す人、接客の仕事をする人、それぞれ自分の現場に即したケースで実践練習を行う。
10	実践練習②	カウンセラーを目指す人、接客の仕事をする人、それぞれ自分の現場に即したケースで実践練習を行う。
11	実践練習③	カウンセラーを目指す人、接客の仕事をする人、それぞれ自分の現場に即したケースで実践練習を行う。
12	Aコース修了試験	Aコースの基準を満たしているかどうか、習得度をチェックするための試験の実施。

	カリキュラム名	カリキュラム内容
1	受容 アクティブリスニング 質問の仕方	クライアントに対する受容、アクティブリスニング、表層から深層へと話を掘り下げる質問の仕方を学ぶ。
2	共感	クライアントの心に寄り添う共感の仕方を学ぶ。
3	受容、 アクティブリスニング 共感、質問の仕方	1、2で学んだことをクライアントとの会話の流れの中で行えるようにする。
4	問題の本質とは	問題の本質とは何か、どのように分析をするかを学ぶ。
5	問題の本質を見極める 質問の仕方	問題の本質を見極めるためにどのように質問をしていくかについて学ぶ。
6	積極技法について①	カウンセリングの統合に向かっていくための積極技法について学ぶ。
7	積極技法について② 対決技法について	カウンセリングの統合に向かっていくための積極技法、対決技法について学ぶ。
8	実践練習①	1~7を踏まえた上で、カウンセリングを進めるトレーニングを行う。
9	実践練習②	1~7を踏まえた上で、カウンセリングを進めるトレーニングを行う。
10	実践練習③	1~7を踏まえた上で、カウンセリングを進めるトレーニングを行う。
11	実践練習④	1~7を踏まえた上で、カウンセリングを進めるトレーニングを行う。
12	Bコース修了試験	Bコースの基準を満たしているかどうか、習得度をチェックするための試験の実施。